

公益社団法人 日本経営工学会
第 33 期第 7 回理事会議事録

日 時：平成 28 年 7 月 9 日（土） 15:00～18:15

場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館 5F 大会議室

出席者：（理事）河野宏和、二ノ宮滋、外館晃、篠田心治、松林伸生、伊呂原隆、稲田周平、
斎藤文、小西昭士、内田耕平、大久保寛基、皆川健多郎

（監事）高橋勝彦

欠席者：（理事）岩崎昭、（監事）後藤正幸

議決事項

1. 第 33 期第 6 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より、（資料 1-1）に基づき、第 33 期第 6 回理事会議事録（案）が提示され、議事録として全会一致で承認された。

2. 入会承認の件

会員担当理事より、（資料 1-2）に基づき、正会員 10 名、学生会員 1 名の入会申請が報告され、全会一致で承認された。

3. 2016 年春季大会 Best Presentation Award 受賞者の件

表彰担当理事より、（資料 1-3）に基づき、審査対象者 35 名に対して平均評価値が高いものから上位 5 名を選出した受賞候補者が提示され、全会一致で承認された。

4. 支部委員会委員の交代について

支部担当理事より、（資料 1-4）に基づき、東北・北海道支部委員である東北工業大学 渡部順一氏の退任と山形大学 本多薫氏の就任、および本多氏の東北・北海道支部長就任が提示され、全会一致で承認された。

5. 2016 年秋季大会について

大会担当理事より、当日配布資料に基づき、秋季大会は IE 協会との共催により支出が増加するため赤字が見込まれており、そのため今回は特例として大会規則第 7 条に照らし合わせて、大会参加費を値上げすることが議決事項として起案された。具体的には、正会員および非会員が+2000 円、学生会員および学生非会員が+1000 円とすることが、全会一致で承認された。

また大会案内の中に上記の理由説明が必要な場合は、2016 年秋季大会は IE 協会との共催であり、IE 協会年次大会の予稿集が受領できること、IE 協会のセッションにも参加できること、およびネットワーキングも通常とは異なる形式となり経費も多くかかること、を鑑みた結果である旨を記すこととした。

協議事項

1. 次期役員・代議員選挙について

庶務担当理事より、当日配布資料に基づき、平成 28 年定時総会にて改正が承認された「役員及び代議員選挙規則」に基づいて提案した要領で、次期選挙を行うことが全会一致で承認された。役員・代議員において立候補者が不足した際の推薦基準についても提示され、全会一致で承認された。また、選挙委員会委員および代議員推薦委員会委員については 9 月までに依頼し、9 月の理事会で議決することが確認された。

2. 賛助会員の退会に関する特権の見直し、追加について

会員担当理事より、(資料 1-5)に基づき、賛助会員増強のためのアクションプラン(素案)が提示され、参加費用と予稿集購入費用については 1 口につき 2 名まで無料とすること、予稿集への広告については 1 ページあたり 2 万円引きにすること、およびこれに関する大会細則第 5 条 3 項を改正(「一口あたり」の文言追加)することが全会一致で承認された。

3. 大会でのオーガナイズドセッションの設置について 48

会員担当理事より、(資料 1-6)に基づき、企業事例セッションについては通常の研究発表とは異なる価値を提供できる可能性があり、無理のないレベルで運用することを条件に 2016 年秋季大会にて設置することが全会一致で承認された。一方でエレメンタリーセッションについては原案だと通常の研究発表で代替できるとの意見があり、次回大会では実施せず支部間の交流企画などとして再検討することとした。

4. 支部組織の改編について

支部担当理事より、(資料 1-4)に基づき、関東 3 支部の統合についての提案があった。統合により運営が効率化されるメリットもある反面、支部活動が縮退してしまう懸念もあるとの意見が出された。協議の結果、支部のエリア内に本社や工場がある企業との連携活動など、統合を機に活性化する策の検討を前提に議論を進めるよう要望が出され、支部委員会に持ち帰って再検討し、別途議題として提起することが確認された。

5. 次回秋季大会の入会審議について

庶務担当理事より、2016 年秋季大会に合わせて入会申請する人の入会審議が 11 月の理事会では間に合わないことが報告され、その対応として今回の入会承認についてはメール審議とすることが全会一致で承認された。

報告事項

1. 代議員選挙繰り上げ当選の件

庶務担当理事より、(資料 1-7 および 11-12-3)に基づき、孔憲達氏のご逝去に伴う代議員の繰り上げ当選者は、前回選挙の次点者の中で最も得票数が多かった聖泉大学の方蘇春氏となることが報告された。

2. 退会について

会員担当理事より、(資料 1-2)に基づき、退会について報告がなされた。

3. 大会での会員状況報告と会員増員へのアクションプラン提言シートについて

会員担当理事より、(資料 1-8) に基づき、春季大会にて会員分析アンケートおよびディスカッションを実施し、その内容を「会員増員へのアクションプラン提言シート」に追加したことが報告された。

4. 2016 年春季大会会計報告

大会担当理事より、(資料 1-9) に基づき、2016 年の参加者は 265 名であり収支としては約 465,000 円の黒字となったことが報告された。なお会長より、既に庶務委員会により実施が開始されている経費削減に向けての業務効率化のアクションを鑑み、大会運営についても効率化できる面はないか検討を進めてほしいとの要望があった。

5. 2017 年春季大会について

大会担当理事より、当日配布資料に基づき、2017 年春季大会は 5 月 26 日(金)と 27 日(土)に龍谷大学 深草キャンパスで開催することを決定したことが報告された。

6. 2016 年秋季大会について

大会担当理事より、当日配布資料に基づき、大会プログラムおよび 10/29(土)の企画案が報告された。

7. 経営工学 3 団体連携事業運営委員会開催報告

財務担当理事より、(資料 1-10) に基づき、2015 年度の活動結果および 2016 年度の活動計画(案)について報告がなされた。

8. 日本学術振興会賞および日本学術振興会育志賞への推薦について

表彰担当理事より、(資料 1-11) に基づき、表彰委員会にて選考した結果、日本学術振興会賞には早稲田大学 蓮池隆氏、日本学術振興会育志賞には岡山大学大学院 博士後期課程 友廣亮介氏を日本経営工学会から推薦することが報告された。

9. 第 33 期第 7 回「国際渉外委員会」理事会報告

国際渉外担当理事より、(資料 1-12) に基づき、協賛行事、国際会議情報の公開サービス状況、および APIEMS 関連事項について報告がなされた。

10. 掲載料・別刷代請求一覧について

編集(論文誌)担当理事より、(資料 1-13) に基づき、掲載料・別刷代請求について報告がなされた。

※次回第 33 期第 8 回理事会は、平成 28 年 9 月 17 日(土) 15:00~18:00、慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館 5 階大会議室にて開催する。

議事録署名人

高橋 勝彦

印

議事録署名人

後藤 正幸

印